

夢みらい倶楽部

高谷 弘志

平成18年度市政運営
全般について

各派代表質問

のぞみ
会派希望

小田部 善治

大場市長の3選出馬と
財政構築について

民間委託の推進と適正職員数について

問) 行政は行政でなければできないことを重点的に取り組むべきで、現在の事務事業について、既存概念にとらわれず、徹底した再点検と見直しを図り、民間等への委託を行うことで効率化が図られるものは、指定管理者制度や業務委託など、民間委託等を積極的に進めるべき。また、取り組み推進を行った場合の将来の適正職員数について、どう考えるか。

答) これまでも民間委託等を推進してきたが、今後もより効率のかつ効果的で、安心で安全な市民サービスを安定的に提供でき、かつ行政責任が確保できるという観点から十分考慮した上で、可能なものについては積極的に民間委託や指定管理者制度の導入を図っていく。その際の職員の適正数については、算出していないが、今後、組織機構の見直しをする際に考慮していきたい。

流水をキーワードにした環境保全策について

問) 網走にとって流水は宝である。流水減少の原因は二酸化炭素濃度の増大による地球温暖化が大きな要因である。市は、これまでも、環境保全、二酸化炭素の削減に向け、さまざま取り組んできているが、「流水を守る」という「トラスト運動」としてそれらを集約・補強し、市民はもとより世界にアピールし、網走だからこそ意味・意義がある取り組みとすべきと考えるが。

答) 「流水トラスト」という言葉が適切かどうかは別として、これまでの施策や取り組みを「流水」をテーマとする地球温暖化対策という大きなくくりの中で周知し、実践していく上で、大いにアピールできるとともに、地域の運動として盛り上げていくためにも有効な手段であると考え、今後研究していきたい。

建築物等における「色彩景観ガイドライン」の策定について

問) 都市景観を形成する上で色彩が果たす役割は大きく、街の印象を左右する建築物等の色彩は、街並みに調和や一体感を与える手段として効果的である。データに裏打ちされた「色彩景観ガイドライン」を策定し、だれもが美しいと感じる魅力的な網走の実現を図る必要があると考えるが。

答) 色彩は良好な街並みの重要な要素の一つであると認識している。市では現在「景観と緑の基本計画」を策定中であり、その中でも、景観形成の推進方策としてあげられている「景観条例」の調査・検討、さらには国の協力で現在実施している「景観形成手法調査」の結果を見ながら、検討を進めていきたい。

その他、網走の将来人口、税や利用料金等の滞納に対する収納体制、補助金交付組織・団体に対する事業内容の積極開示、ユニバーサルデザインによるまちづくり、農業問題、港湾整備、高齢者福祉、ごみ減量対策、勤労者福祉、移住・定住政策、観光振興策、市独自の教育施策の必要性について、質問を行った。

大場市政の総括について

問) 実質破たん状態といわれた網走市政の運営に、どんな思いと決意で臨まれたか。また網走市の適正な財政規模とその財源確保の認識と将来展望について伺う。

答) 財政破たんを回避することが自分に課せられた使命であり、自分でなければこの役割を担うことが出来ないという思いで、精神的な重圧に耐えながら改革に全力で取り組んで来た。財政規模は本来190億から200億が適当であり、財源は内部経費のさらなる削減を前提にして、使用料、手数料の適正負担も検討していきたい。

大場市長の第3期市政への立起について

問) 網走市の財政はまだまだ険しい危険な道のりが続いているが、市長の努力で着実な再建軌道が敷かれてきた。会派希望としてこの実行力に全幅の信頼と評価をもって第3期大場市政の継続に不返転の決意で臨んでほしいが、その所信を伺う。

答) 市長としての志、責任感はいささかも衰えていないと思っているが、いま少し熟慮の時間を与えてほしい。

網走の活力維持増進について

問) 市政運営の基盤は財政にあり、直接間接の違いはあるものの市民全体のもの。少しのムダも許されず、行政執行体制と完全に分離させた形での全ての事務事業について、その見通しと評価検討を実施すべきであるが、その所見を伺う。

答) 事務事業評価制度の運用は、今後ますます重要と認識し、外部組織による事務事業の評価検討について、どのように実施するか検討していきたい。

問) 市職員の能力向上、健康管理、給与手当、有給休暇の改善、人事交流、民間交流の考えと評価を伺う。

答) 平成11年度策定の行政改革推進計画及び地方公務員の給与構造改革の早期実現に向け、組合と協議を進めている。職員派遣交流は、一定の成果をおさめており、今後も引き続き進めていきたい。民間との交流については、職員の資質向上に必要であると考えているが、派遣期間、時期の問題、地元企業での受け入れなどの問題もあり、今後検討していきたい。

問) 都市基盤の整備について、道路、網走川右岸、上水道導水管の調査点検等を伺う。

答) 道路については整備促進と道々昇格、網走川右岸の整備は中心市街地への誘導を含め整備検討を進めていきたい。導水管調査で老朽化の診断を行い、問題箇所については、計画的に補修を進めている。

問) 市長公約の健康増進施設は発想を大きく変え、他都市に見られるスーパー銭湯など広く民間動向を視野に、機能を併設するなど官と民が協力しあい地域の発展向上を求めてゆく方策を検討すべきではないか。

答) 健康増進施設の主な機能は温浴や水中歩行が主体となったサービスの提供であり、直営にこだわらず、民間との協働の方策等について、あらゆる角度から検討していきたい。

質問及び答弁については、要約して紹介しています。詳しい内容につきましては、市議会事務局や図書館に備えてあります会議録をご覧ください。